

# 関西大学社会安全学部客員教授講演会

## 被災地で感じた『情報のズレ・温度差』

被災地の状況を知らせてくれる情報は、マスメディアの場合、「東京」を経由して、そこで集約・整理・編集されてから全国に広がっていきます。

その情報をふまえて、救援や支援の手が全国から被災地に差し伸べられます。このとき生じるのが、「情報のズレや温度差」です。

1995年に、阪神・淡路大震災の被災地のただ中で取材活動をしていたとき、私自身が、マスメディアを通じて流される情報に何を感じていたのか。そして、それはどのように見直されてきたのか。皆さんと一緒に検証したいと思います。

### 講師 住田 功一 氏

日時：2023年12月21日（木）14:40～16:10

場所：関西大学 高槻ミューズキャンパス  
西館7階 M706教室

申込不要  
入場無料

#### ◆ 住田 功一 (すみだ こういち)氏 プロフィール

大阪芸術大学・放送学科教授、  
元NHKアナウンサー



■事務局 関西大学社会安全学部 [http://www.kansai-u.ac.jp/Fc\\_ss/](http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/)  
〒569-1098 高槻市白梅町7番1号 TEL 072-684-4000

車やバイクでのご来場はご遠慮願います。公共交通機関をご利用ください。キャンパス内は、一部を除き全面禁煙です。ご協力をお願いいたします。